

精密工学専攻  
国際ワークショップ演習  
履修要領

2016年度

本要領は 精密工学専攻国際ワークショップ演習（通年2単位）の履修要領を定める。

受講者は、本要領の定める、趣旨、受講登録方法、提出物等、を十分に理解すること。工学系の定める時期にあらかじめ履修登録を必ず行うこと。

## 記

### 1. 趣旨

国内外で開催される国際会議、ワークショップなどで、精密工学専攻が認定した国際的活動（以下、国際的活動）に参加した場合、その国際的活動に対して単位を認定する。対象となる国際的活動は各活動の担当教員が随時掲示によりアナウンスする。

### 2. 講義の目的

研究成果を相互に議論する国際ワークショップに参加し、自分の研究を用いて他を説得し、他人の研究を理解して新しいものを生み出す演習を通じて、ディベートや組織能力を涵養し、将来の国際的リーダーとしての基礎力をつける。

### 3. 理解すべき事項

講義の目的をよく理解し、国際的な活動を積極的に推進すること。国際的な理解を進めるための相互理解の方法あるいは議論の方法を考慮して活動すること。英語には限定しないが、日本語だけ、あるいは母国語だけの活動は除外される。また、単なる国際会議での発表や留学は対象とならない。

### 4. 単位認定

対象となる国際的活動ごとに担当教員よりガイダンスを行い、実施形態、単位認定に要する作業や提出物について具体的に説明するので、履修登録をしたものは、掲示板を見ること。なお、国際活動は実施時期が限定され、内容によっては定員があるため、履修者を選考する場合がある。なお、担当教員とは、個々の国際的活動を企画し、担当する教員を指す。

### 5. 報告書ならびに成績評価

専攻で認定した国際活動にて一定時間以上活動し、別途指定した所定の報告書を提出し、活動内容を発表することに対して、成績評価を行う。